

参考様式B4(自己評価等関係)

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		KATATSUMURI			公表日	2026年 1月 29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用児の調節をおこない、効果的な療育ができるように環境設定に努めています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		適切に配置されるようシフト作成をしています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		ホワイトボードや壁に貼ってあるカード等で目で見てわかるように設定しています。施設内には段差などはありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃とその都度のVBウェットティッシュで机を拭くなど、清潔を保っています。また、子どもたちが活動しやすいよう空間を作っています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		相談室にソファを置き、クールダウンができるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画に基づいた療育の実施はできており、月1～2回の会議により、業務内容の確認や療育についての具体的な課題等の確認、実施等できています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケートの結果を受け、業務改善できるところは改善しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		週1～2回の会議や研修会で、意見や改善すべきところを各職員に提案してもらい、その内容を業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		基幹支援との連携を強めて、意見を頂けるようにしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		施設内で毎月研修・会議を行っています。虐待防止や緊急時BCP対応の研修・確認、ヒヤリハットやADHD等の研修・確認等々、日々行っています。また、県や市からの研修会についても参加要請を出して研修をしていただいています。	
支援体制	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		適切に支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談や学校等の面談では、情報共有を大切にし、相談員とのモニタリングで連携を図り、個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		毎月の会議や研修会では各職員の意見を反映し、共通理解を持って、子どもの最善の利益を考慮した検討会が行われています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		会議等で確認し、それに沿った支援を行っています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		常に確認しています。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		具体的な支援内容が設定されています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームで行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		個別の目標を軸に、利用児ひとり一人に合った活動プログラム（療育）を毎回作成しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別療育、グループ療育とも計画を作成し、支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎日、利用児の療育内容や、様子等確認しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		毎日、支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しています。気づいた点については、その都度共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者へのラインでリアルタイムに利用児の写真や動画を送り、複写になっている連絡ノートでその日にあったことを連絡しています。会議では、連絡ノートの内容や利用児の記録を共有し、支援の検証・改善につなげています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		市の発達支援相談員と定期的にモニタリングを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		会議ではガイドラインの確かめを実施し、複数組み合わせて支援を行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		行っています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		下校時刻や必要な事柄などは、学校よりFAX、又は手紙を頂き、その都度連絡を取り合っています。年に2回の学校との面談により、情報を交換し療育に活かしています。また、大きな出来事があった利用児に関しては、その都度学校に訪問をして詳しく聞き取りを行っています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援事業所や発達支援センターとは連携しています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		<input type="radio"/>		現在、そのような利用児はいませんが、そのような利用児がいる場合は支援シートなどを作成し、お渡ししたいと思います。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		連携し情報共有をしています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		長期休みは野外への活動もあり障がいの無い子どもとの交流はあります。が、障がいに対する受け皿があるか、学校等で教師や指導者自身が障害について理解し、子どもたちの支援に当たっているかが疑問であるため、少し躊躇するところがあります。また、保護者の意見の中には、わざわざ障がい者と示すようなことはどうか等、意見の出るところです。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			参加しています。また、一部の支援期間との交流にも参加しています。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		ラインでのリアルタイムの写真や動画での報告、複写になっている連絡ノートや面談、送迎時の情報共有を大切にしています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		ニーズがあれば対応の準備はあります。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		時間をとって行っています。また、運営内容に変更がある場合は手紙や面談で説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年2回の面談により保護者様からのご相談に寄り添って支援しています。また、年2回の子ども会議では子どもたちの意見を聞き、お互いに話し合う機会を持っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		時間をとって行っています。また、運営内容に変更がある場合は手紙や面談で説明をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		年2回の面談により保護者様からの相談に寄り添って支援しています。また、その都度保護者より相談があった場合はその都度時間を時間を持つて支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者が集まるる日時が少ないため、未だ保護者会を開催できていません。未定ですが、やっていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は、連携機関等を利用し説明を行ったり、理解を求めたりしています。また、迅速に行動するよう心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、月ごとの内容を配布しています。ラインではリアルタイムに利用児の様子を配信しています。連絡ノートではその日にあった出来事等々連絡しています。また、HPではWeb日記で子どもたちの様子を配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されているものについては鍵付きロッカーに入れ日常的に鍵を閉めています。また、取り扱いについては職員間で守秘義務を遵守するよう確認しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児については療育の中でコミュニケーションの手立てを考え行っています。保護者についてもできる限りの配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年3回、SSピンポン等地域の方々と交流しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		HPや手紙等で家族に周知しています。職員や子どもたちには、災害のかるたや本を読んだり、逃げる場所を想定し確認しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPについてはHPに記載しています。避難訓練、救出については研修会等で訓練を行っています。また、年1回の消防署での訓練に参加しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかん発作等の利用者はいませんが、服薬や予防接種については状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、対象となる利用児はいませんが、契約の際に必ず保護者に確認をしています。また、面談の際にも再度確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例集を作成しています。常に確認し、会議や研修会等でさらに再確認をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関しては、必要なマニュアルを作成し常に会議等で話し合いをしています。HPに掲載しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、対象となる利用児はいませんが、行動援助従事者養成研修や意思決定支援と虐待防止研修を受け、研修会や会議で共有し常に確認しています。また、対象となる利用児がいた場合は保護者様に丁寧に説明をし、放課後等デイサービス計画に記載いたします。	